



平成27年度 貴重図書 《展観と講演》
実施報告 『作家の参考書－芥川龍之介を例に－』

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15068

平成 27 年度 貴重図書《展観と講演》 実施報告 『作家の参考書－芥川龍之介を例に－』

学術情報室 呉家静

学術情報センター図書館では、大阪女子大学附属図書館が平成 17 年度から開催していた事業を継承し、平成 19 年度より展観と講演会を毎年開催している。平成 27 年度は『作家の参考書－芥川龍之介を例に－』というテーマで、大阪市立大学の奥野久美子准教授を講師に招き、講演会を開催した。

展観は、「貴重書名品展－秋－」というテーマで、当館所蔵の資料を展示した。

■講演

日 時：12 月 2 日（水）14 時～15 時 30 分

会 場：当館 2 階中会議室

講 師：奥野 久美子 氏（大阪市立大学 准教授）

参加者：26 名

芥川龍之介が今昔物語集に着想を得ていたことは、『鼻』や『藪の中』の作品等でよく知られているが、厳密にいうと『校註国文叢書』（博文館）所収の『今昔物語集』を参考にしていたと考えられている。このほかにも、1922 年の作品『俊寛』と『攷証今昔物語集』の関係や、1917 年の作品『戯作三昧』が式亭三馬の『浮世風呂』の挿絵を参考にしたものであると考えられることなどを紹介し、芥川が参考にした資料に焦点をあて、本学所蔵の原資料をもとに詳しく解説した。



■展観

期 間：11 月 2 日（月）～12 月 28 日（月）

会 場：当館 1 階貴重図書展示コーナー

この講演に関する当館所蔵の貴重資料や平成 28 年に美術館に出展する予定の作品など、代表的なもの 11 点を貴重図書展示コーナーに展示した。



以上